

林業学習実施中!(県立島根中央高等学校)

島根県では、年間80人以上の新規林業就業者確保を目標に、高校での林業学習を支援しています。

令和6年6月10日(月)と6月17日(月)に県立島根中央高等学校の2年生20名が林業学習講座を受講しました。

6月10日は地元、川本町で活動されている篤林家の山林にお邪魔し、全国でも生産が限られている絞り丸太の生産方法や、原木しいたけの生産について学習しました。説明を受けた後、ご自宅の床柱として利用されている絞り丸太を見学をしましたが、普段見かける木材とは違うごつごつとした肌のスギに触れ、生徒たちも興味津々でした。

6月17日には農林大学校へ行き学習を行いました。森林・林業についての講義と農林大学校についての説明を受けた後、グラップル等の高性能林業機械の操作体験や、チェーンソーによる玉切り体験、VRやドローンといった最新の機器を使用した森林施業の体験を通し、林業への理解を深めました。

これからも、高校生に林業の魅力を感じてもらえるような講義内容とするべく、林業学習の支援を行っていきたいと思います。



絞り丸太についての説明



原木しいたけ生産についての説明



グラップルの操作体験



VRを使った伐倒体験